

平成25年度  
2014年

# 学校だより

第41号

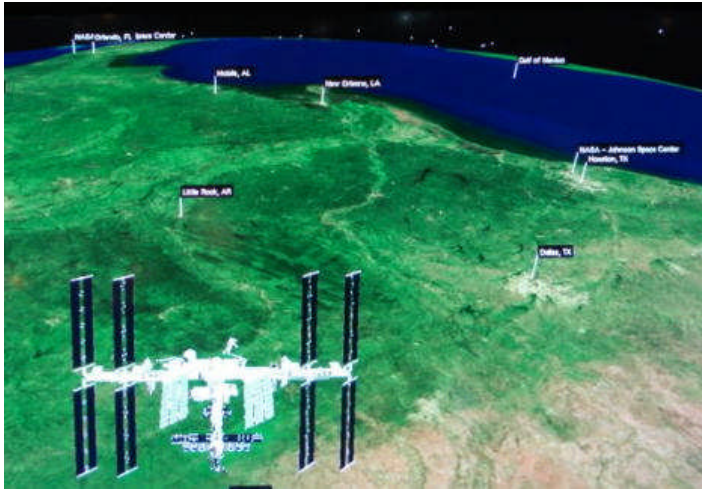
3月 8日

ヒューストン日本語補習校

## 若田宇宙飛行士との交信

3月1日、午後1時50分から40分間にわたって補習校全児童生徒と国際宇宙ステーションの若田宇宙飛行士との交信が行われました。

当日はNASAの担当者に交信準備をしていただき、若田さんの主治医である松本さん（JAXA 宇宙飛行士運用技術部医長）に司会進行をお願いしました。



大型スクリーンで映像を観ながらの交信が始まりました。欧州実験棟、きぼう実験棟、米国実験棟の他にも寝室の様子や一番景色のよい出窓からの宇宙の風景など各場所に移動しながらの紹介がありました。

「今、オーストラリアをぬけてハワイ上空へ向かっています。地球の大気層を見ると、やさしく包んで生命体を守っているような気がします。」（出窓での若田さんの言葉）

機内紹介の後は質問タイムになりました。（一部紹介）

Q 若田さんにとって地球はどんな存在？

A 私や多くの人びとにとって、掛け替えのないふるさと。暗黒の宇宙に青く浮かぶ地球はオアシスを思わせる。掛け替えのない地球を守っていかねばならないと思う。

Q 地球では普通でも宇宙ではだめなことは？

A たとえば・・・、物は刀刀して置く事が出来ない。テープで貼り付けている。歩行が出来ないので、手すりを使ったり壁をけったりして移動する。

Q 地球が恋しいと感じることは？

A ステーションの仕事も生活もとてもよいが、家族の写真をみると地球が恋しくなる。188日間家族も同じ気持だと思ふ。家族の支えがあつてこそこの仕事ができる。

（最後に） 帰ったら皆さんに土産話をしたい。

有意義な、感動的な40分間の交信でした。

## 先生方の投稿

⑩

『言葉』 高等部担任 河島 通子

米国に暮らす日々が長くなりました。言葉に悩み苦しめられ、魅せられ引きずられて生きてきました。日本から来た人が私を含めこの地に同じ位長く住む日本人の日本語を聞くと古い日本語だと言います。私達は、自分が持込んだ時代の日本語で生きていますから、いつか日本語の化石を作る事が出来るかもしれません。

アメリカには日本人だけでなく、海外から来て宗教や政治的な問題から集団で暮らす社会があります。海外から来る時に持込んだ習慣や言葉がそのまま生きていたりします。

チャイナタウンでは、隠れて生きて行く事が出来るとか聞きました。中国人社会がアメリカで生きて来た歴史と成り立ちがそうさせるのだと思います。中国人社会で中国語だけで一生を生きてきた高齢の女性たちを見ると、化粧もしないで英語も話さないで生きてきています。アメリカで中国人として生きてこられました。この社会では、中国語を話す人と言葉が生き、その言葉話す人が亡くなれば言葉も一緒に死亡するのだと思います。

移住社会には外側とコミュニケートがあるものと、小さいグループで外側の社会とは関係がなく生きている所とがあります。そういう中でも子供たちは英語をネイティブの先生から学ぶと共に、自分たちのコミュニティーで自分たちの言語を教わったりします。何かのクラスでの聞きかじりですが、子供の躰の問題では少人数であるがための利点もあると言います。子供の教育と躰が行き届いて安心して子育てが出来たと言う人もあります。若年で母になる問題がありますが、小さなコミュニティーではその心配がなかったと言います。子供がもっと子供らしく育つたと言います。

台湾の知人を通じて台湾国母の会の方々には何人かお会いしました。台湾の政治的な状況もあるのですが、子供たちは二重国籍とか英語、日本語、台湾語の3つの名前を持っていたりします。幼稚園からの教育で3ヶ国語を話せるようになるのは普通、これからの教育には三ヶ国語を話せるのが普通と言います。その子供たちは親と同じようにやがて台湾社会と世界をまたにかけて働く人になるのかも知れません。国民全部がと言う事ではありませんが、ヨーロッパでも国境が近いところでは何か国語でも話す人は大分いるらしいとのこと。

## 学級紹介

No 20  
小学部6年B組



六年B組は、女子9人男子3人の12人のクラスです。皆授業に真剣に取り組んでいます。担任の久次米先生は、とても優しく授業の教え方も上手で、時々面白

いことを言って皆を笑わせてくれます。かと言って、ずっと優しいのではなく、私達が善くないことをしたら、ちゃんと注意して下さる、とてもいい先生です。

勉強では、国語・算数・社会の3教科を頑張っていますが、クラスが一番真剣に取り組むのは、算数です。普段は優しい久次米先生も、算数の時は厳しくなります。

運動会などの行事では、共に力を合わせることでできる、協調性と団結力があるクラスです。そして、友達が困っているときは、助けたり励ましたりの思いやりがあるクラスです。

去年の4月から今日までに、6年B組は、とても変わりました。去年は、6年生らしくなったという感じでしたが、今では立派な中学生になろうとしています。

来年も、楽しく真剣な中学校生活を送りたいと思っています。

以上、6年B組の紹介でした。 印南 楽々

<担任：久次米康子>

## ◆パトロール当番予定表 3月15日◆

これは2・3月当番一覧表に記載された予定です。変更の場合はこの表とは異なりますのでご注意ください。

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小1	45	坪田 直人
		46	吉崎 みく
		1	岡本 藍人
	小2	2	片岡 伸太郎
		3	佐藤 麟之介
		4	有田 煌
		5	中村 隆太郎
★PM1リーダー	小2	6	本村 宇
		8	インタラニー 友理
	小1	9	安達 楓香
		11	スミス 英美
		12	石井 輝
		13	大谷 未祈
		14	村田 茉優

## 学級紹介

No 21  
小学部5年B組



5年B組のクラスの目標「相手の立場・気持ちを考え、思いやりをもって発言・行動することができる」を目標に11ヶ月間過ごしてきて、ほぼ目標を達成できました。2月に転校生が2名加わり女子11名、男子8名のクラス紹介をするにあたり、クラスみんなで話し合いをしました。

[ユニークなクラス! とはどんな クラス?]

○団結力のあるクラス、運動会の時にチームワークのよさが発揮できました。 ○みんなの意見を聞いて決めている・・・学級委員が中心となって話し合い決めます。(学習、昼休み)

○ニックネームで呼び合っている・・・学年の始めに話し合い実行しています。 ○お弁当を交換している・・・大変盛んです。

○忘れ物をなくす・・・毎週、誰か、何か忘れてきて先生は、あきられています。 ○昼休みは、クラス全員で遊ぶ、2月に男子転入生男子力アップ! 男女対抗戦をやると9割男子が勝ちます。身体が大きい女子に頑張ってもらっていますが、体力は明らかに男子がうえです。 ○漢字学習はクラス全員で頑張っている・・・後期のクラス平均点が上がってきています。

○先生がいなくても時間になると、授業開始のあいさつをして始めています。高学年の先生、パトロール保護者の方に褒められました。ありがとう!!

只今、6年生にむけ、準備が始まりました。4月から小学部の最高学年として恥じない生徒になってほしいと思います。

<担任：安田清江>

学籍 転出 小2B：大森太朗

在籍数 (3月8日現在) 383名  
幼40名 小249名 中66名 高28名

Japanese Language Supplementary School of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel.281-531-6743 / Fax.281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel.Fax 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org

Home Page: www.jeihouston.org

( 文責 : 校長 山岡 清孝)